

海のない町の貝ボタン

かわにしちょう

# 川西町



大和盆地のほぼ中央に位置する水辺の町、川西町。明治から製造が続く「貝ボタン」は、全国トップシェアを誇る地場産品です。海のない奈良県でつくられる美しい貝ボタンが今、注目を集めています。

## 全国トップシェアの貝ボタン

貝ボタンの技術は明治後期にドイツから伝わり、農家の副業として製造が始まりました。現在、貝ボタンは高級品としてオーダーメイドシャツなどで使われています。

天然の貝を原料としているため同じものは二つとなく、まさにオンラインワン。独特の奥深い光沢がもたらす高級感や、すべりにくく留めやすいことが特長です。

また、染色加工や一つ穴の加工などを施したアクセサリーパーツなどもあり、さまざまなシーンで活用されています。



オーダーメイドシャツに欠かせない貝ボタン



くり抜いた貝の選別工程



原料となる貝は赤道直下の海域などで採取されます。

## 千年以上の歴史をもつ

## 織物ゆかりの神社

能を大成した観阿弥が舞台の成功を祈願したという言い伝えがある糸井神社や、島の山古墳の西側に位置する比売久波神社は、古くから織物に関する祭神がまつられ、貝ボタンの発展を見守っています。

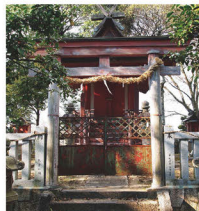
### 糸井神社 (川西町結崎)

一説には、織物技術に関連した氏族が、綾羽・呉羽という殖産工業の神をまつたものともいわれています。



### ひめくわ 比売久波神社 (川西町唐院)

古くは桑の葉をご神体とし、養蚕に関連する神社であることが推測されます。



貝ボタンの購入は  
川西ボタン倶楽部

検索



P26で貝ボタンのプレゼントがあります!

問川西町総合政策課 ☎0745-44-2213 FAX0745-44-4734